

2-1-1 教員の学位や業績

【次世代教育学部】

教育経営学科	名前(読み)	尹 帥 (いんすい)
	職 名	講師
	取得学位	博士(学術)
	専門分野 研究領域	日本語教育, 音声, 認知心理学
	担当授業	中国語会話 I・II, 日本語表現 A(音声), 特別演習 D(N1 対策), 特別演習 D(N2 対策)
	研究業績	<p>① Shuai YIN, Manami SATO, Yosuke IGARASHI, & Hiromu SAKAI. Do L2 Speakers of Japanese Use Accent Information Incrementally in Word Recognition? An Eye-Tracking Study Using Artificial-Word Learning Paradigm. The 14th International Conference on the Processing of East Asian Languages, Nagoya, Japan</p> <p>② 尹 帥, 里 麻奈美, 五十嵐 陽介, & 酒井 弘. アクセント情報は単語認知にいつ・どのように利用されるのか-日本語における人工語彙の学習と視線計測を通じた検討-. The 14th Annual International Conference of the Japanese Society for Language Sciences, Nagoya, Japan</p> <p>③ 尹 帥, 里 麻奈美, 羅 穎芸, 五十嵐 陽介, & 酒井 弘. (2013). 中国人日本語学習者は語彙 認知において逐次的に韻律情報を用いるか? -視線計測による検証-. 電子情報通信学会技術 研究報告信学技報, TL, 思考と言語, 113(174), 7-12.</p> <p>④ 尹 帥. (2014). 日本語学習者の語彙認知におけるアクセント情報の利用: 韓国ソウル方言を 母語とする学習者を対象として. 広島大学大学院教育学研究科紀要, 第二部, 文化教育開発 関連領域, 63, 209-217.</p> <p>⑤ 尹 帥, 里 麻奈美, 羅 穎芸, 五十嵐 陽介, & 酒井 弘. (2016). 中国人日本語学習者は語彙 認知において逐次的に韻律情報を用いるか?-視線計測による検証-. 音声研究, 19(3), 1-12.</p>
	所属学会 学会活動	日本音声学会, 言語科学会
社会貢献		